

水稻の病害虫発生状況（6月）

1 いもち病

- (1) 6月上旬及び下旬の補植用置苗調査では、全ての地点において置苗の葉いもちを確認されませんでした（表1）。
- (2) 6月下旬調査における置苗の残存ほ場率は平年より少ない状況でした（図1）。補植用置苗は葉いもちの発生源になるため、速やかに処分してください。

表1 補植用置苗での葉いもち初確認日（6月調査）

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	平年
中通り	6/9	未確認	未確認	6/21	7/2	未確認	6/22	未確認	未確認	未確認	未確認	6/21
会津	6/24	未確認	未確認	6/20	未確認	6/20	6/8	未確認	6/21	6/11	未確認	6/17
浜通り	6/16	6/10	6/6	6/15	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	6/11

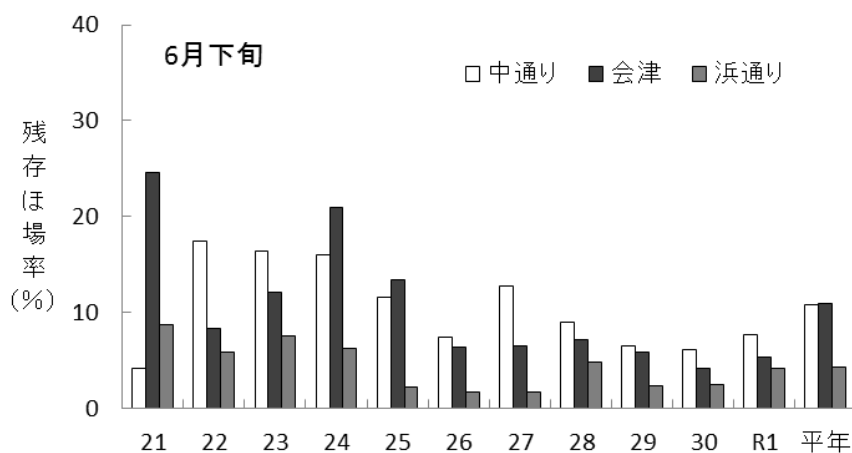


図1 補植用置苗の残存状況（6月下旬調査）

注）本年度の調査ほ場数は、中通り 380、会津 280、浜通り 120

2 イネミズゾウムシ

- (1) 6月上旬調査では、中通りと会津で発生ほ場割合は平年よりやや低い状況でした。浜通りでは発生ほ場割合は平年より高く、被害程度が「多」のほ場も認められました(図2)。
- (2) 6月下旬調査では、中通りと会津で発生ほ場割合が平年よりやや低く、浜通りでは発生ほ場割合は平年よりやや高くなりました(図3)。

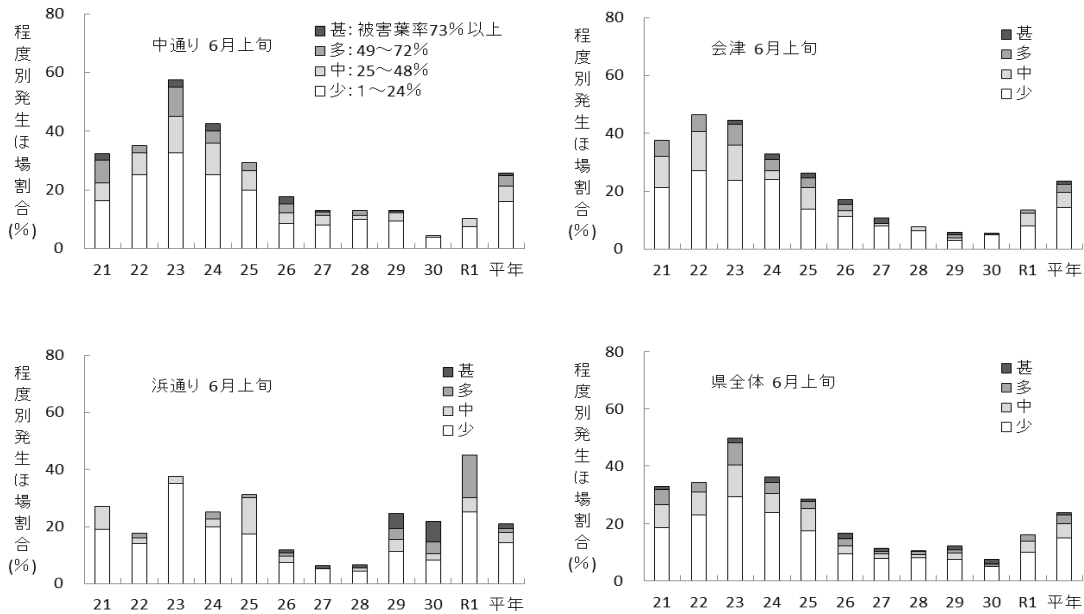


図2 イネミズゾウムシの被害程度別発生ほ場割合(6月上旬)

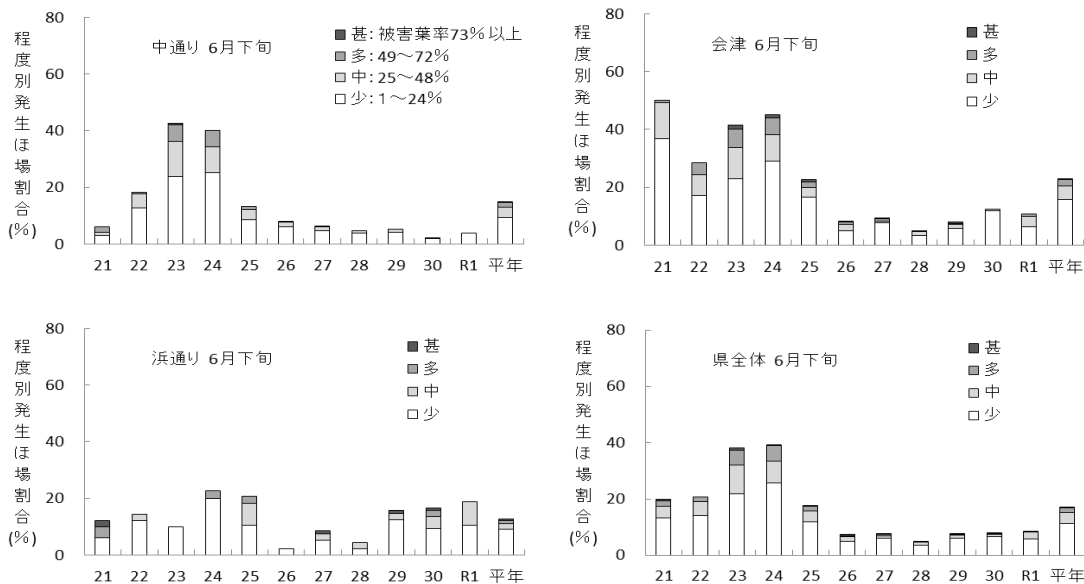


図3 イネミズゾウムシの被害程度別発生ほ場割合(6月下旬)

3 イネヒメハモグリバエ

6月上・下旬とも、全地方で発生ほ場割合は平年並でした（図4、5）。調査ほ場ではありませんが、浜通りでは被害程度の高いほ場も見られました。

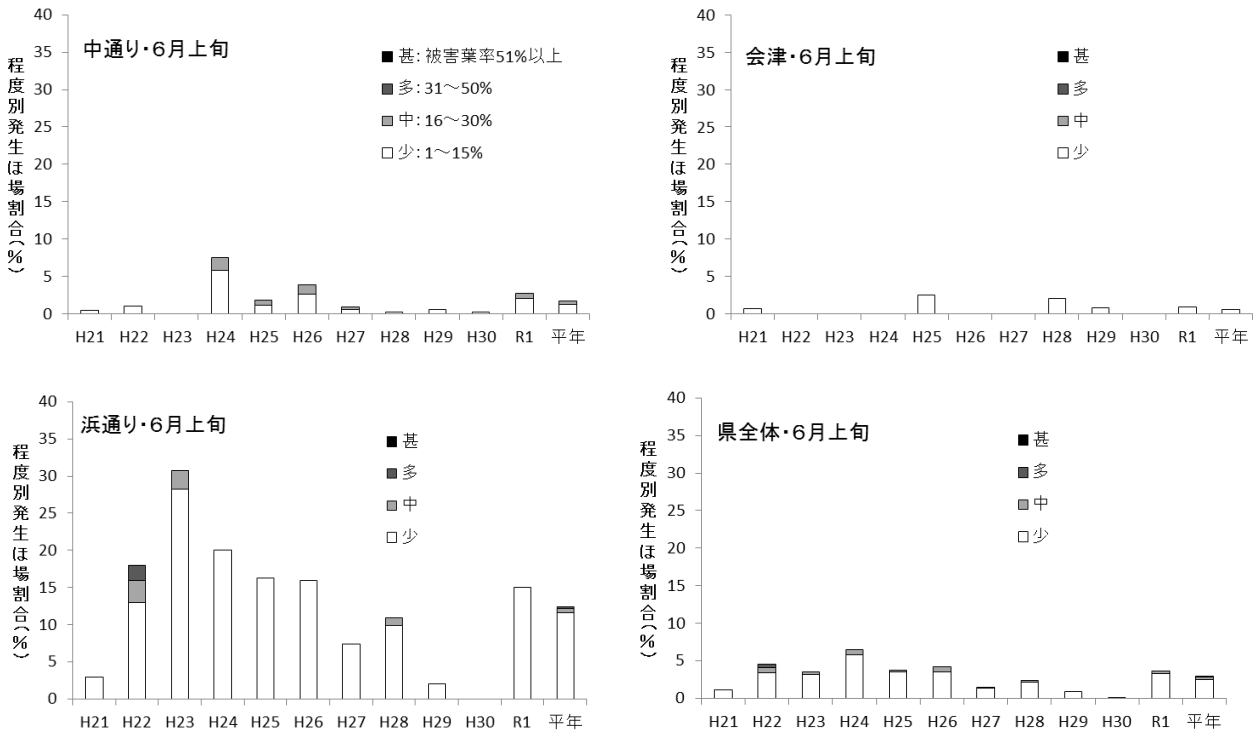


図4 イネヒメハモグリバエの被害程度別発生ほ場割合（6月上旬）

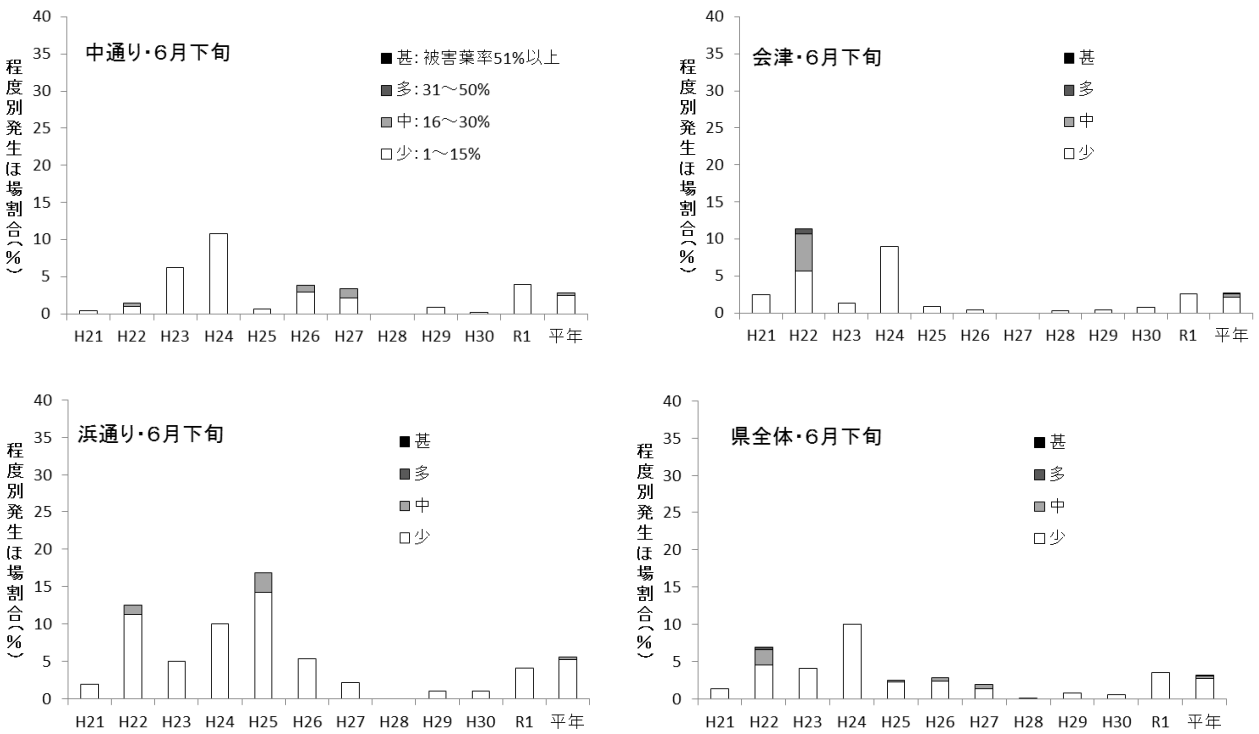


図5 イネヒメハモグリバエの被害程度別発生ほ場割合（6月下旬）

4 イネドロオイムシ

6月下旬調査において、会津と浜通りでは被害程度「少」以上のほ場は確認されませんでした。中通りでは県中を中心に被害程度「少」～「中」のほ場が認められました（図6）。

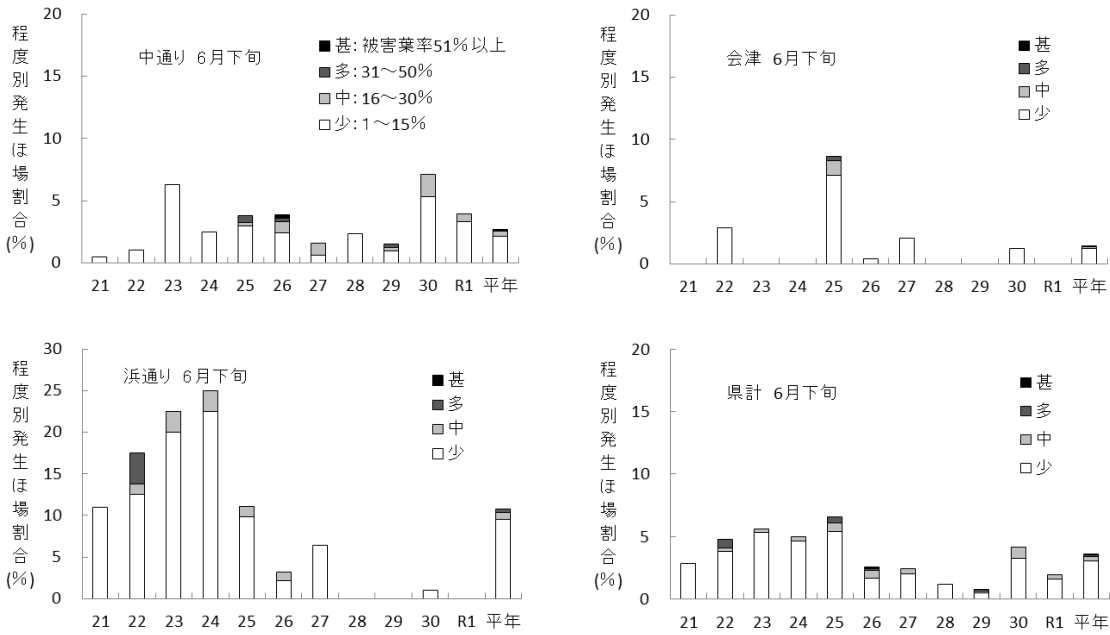


図6 イネドロオイムシの被害程度別発生ほ場割合（6月下旬）

5 イナゴ類

6月下旬調査では、平年並に多くのほ場で幼虫の発生が確認されました（図7）。

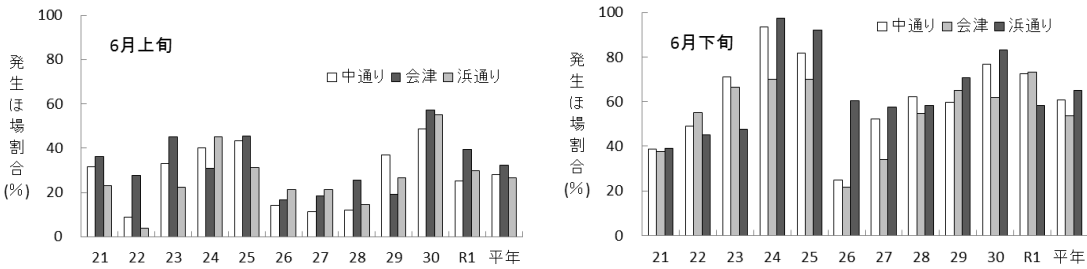


図7 イナゴ類幼虫の発生ほ場割合（6月上・下旬）

6 斑点米カメムシ類

- (1) 6月下旬の畦畔すくい取り調査では、発生地点割合が平年よりやや高くなりました(図8)。
- (2) 主な種類は中通りがアカヒゲホソミドリカスミカメとアカスジカスミカメ、会津と浜通りがアカスジカスミカメでした(図9)。オオトゲシラホシカメムシ、クモヘリカメムシ、コバネヒョウタンナガカメムシは捕獲されませんでした。「その他」は主にフトゲムギカスミカメでした。予察灯やフェロモントラップの調査結果は別のページをご覧ください。

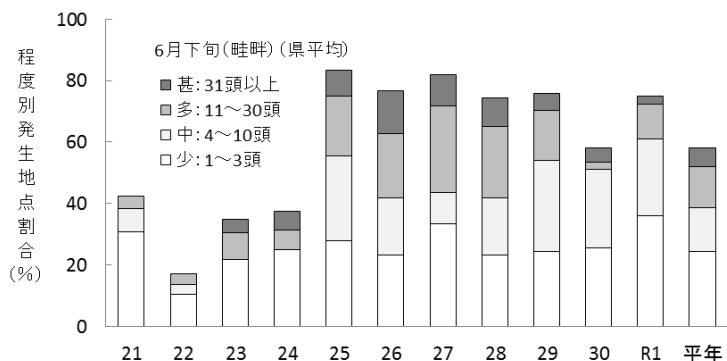


図8 畦畔雑草における斑点米カメムシ類の程度別発生地点割合(6月下旬)

注) 地点数中通り 19、会津 9、浜通り 8

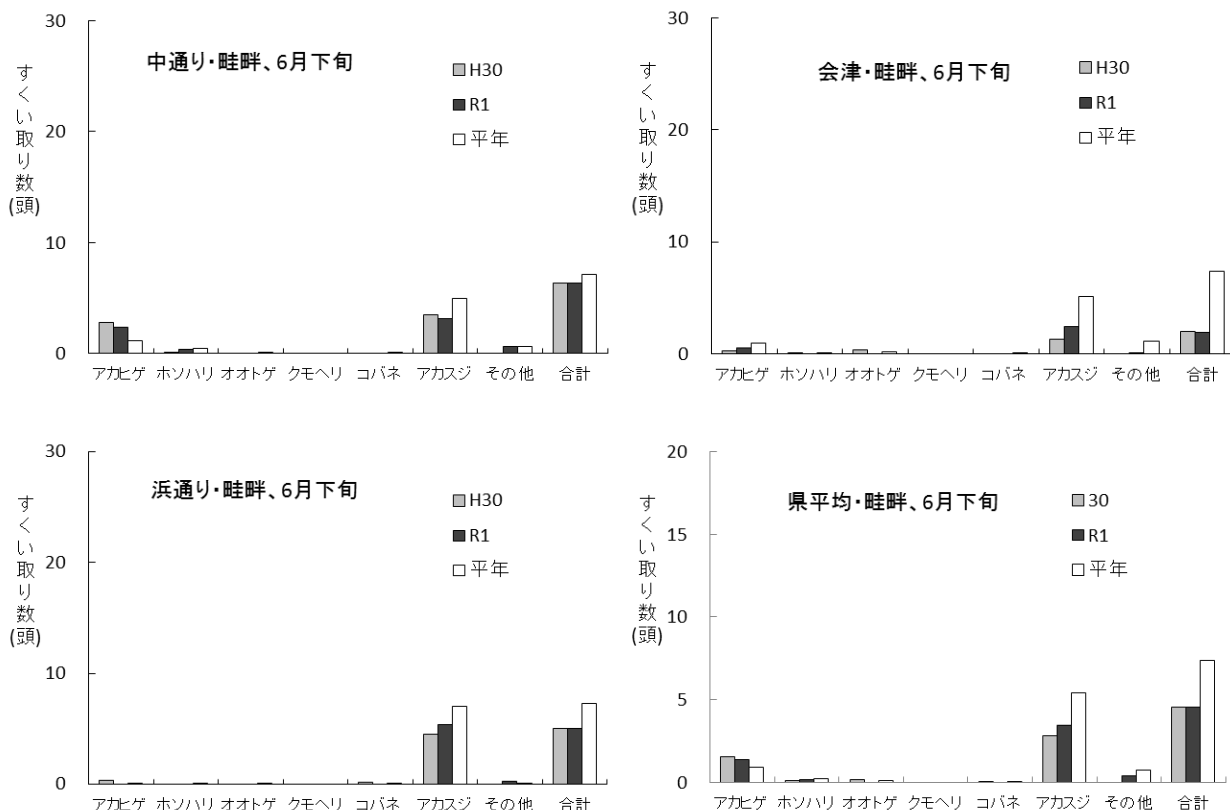


図9 畦畔雑草における斑点米カメムシ類の加害種別のすくい取り数(6月下旬)

注) 地点数中通り 19、会津 9、浜通り 8

(アカヒゲ: アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリ: ホソハリカメムシ、オオトゲ: オオトゲシラホシカメムシ、クモヘリ: クモヘリカメムシ、コバネ: コバネヒョウタンナガカメムシ、アカスジ: アカスジカスミカメ、の略)